

福井県でも植物工場が稼働はじめました！

福井県で今年1月にナメコ栽培室の一室(約15坪)を改造して植物工場プラント導入、3月中旬の出荷をめざしてリーフレタスの栽培を開始された、きた屋フーズ様を紹介させていただきます。  
きた屋フーズ代表取締役の北藪金章さんは、27年前に商社を脱サラして「ナメコ」栽培を始められ、現在はナメコ栽培以外にネギなどのカット野菜の加工販売も手がけられておられます。今年度福井県の補助金を受けられて弊社の植物工場プラントを導入していただきました。

きっかけは、  
①福井県は地元野菜の需要が非常に高く、また地産地消の意識も高まっている中、土地がら冬場の葉物野菜の生産量が少ないので、日照や気温などに左右されず、冬場でも安定して野菜が生産できること  
②現在あるナメコ栽培に使用している栽培室がそのまま利用できること  
③生産した野菜もナメコやカット野菜の販路を利用して販売することができるので、通常の市場出荷に比べ高値での販売が期待できること  
などにより植物工場プラント

の導入を決められたそうです。  
「ナメコ栽培は27年間やってきたが、野菜生産は始めてなので、まずはリーフレタスの安定生産と、植物工場ならではの付加価値の付いた野菜の生産を研究したい」と、今後の展望を答えていただきました。  
まだ初収穫を迎えておりませんが、今後は栽培指導などで協力していきたいと思えます。最後になりましたがきた屋フーズさんの益々のご発展をお祈りいたしております。  
(担当 武田基詩)



施設全景



立体4段式



ナメコ栽培

